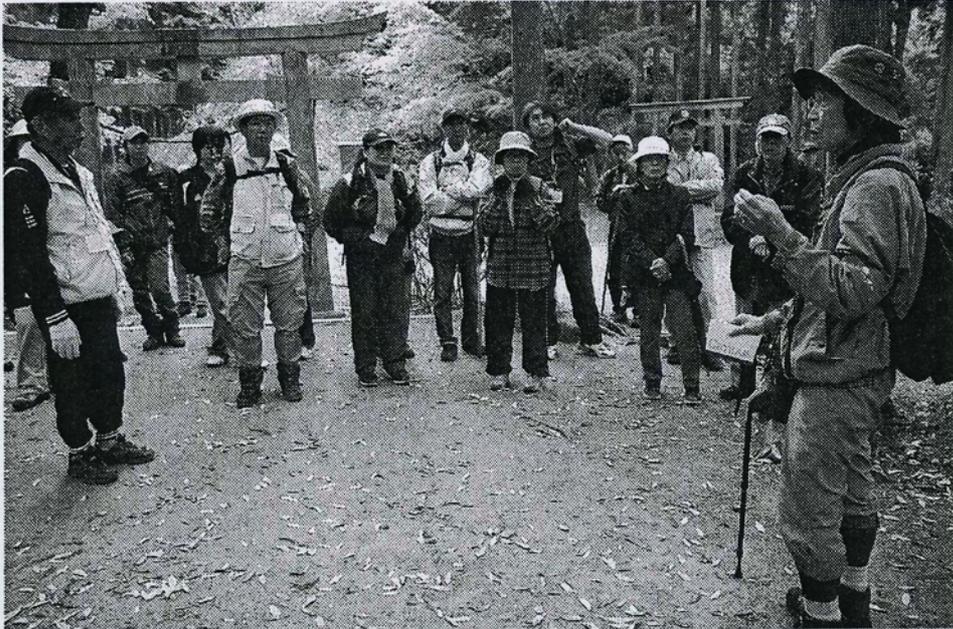


# 熊野古道学び歩く



△  
発心門王子で熊野古道や王子社に伝わる歴史を学ぶウォーク参加者（田辺市本宮町で）

## 文化的景観テーマに 県世界遺産C 記念イベント

田辺市本宮町で19日、県世界遺産センターの開館1周年記念イベントがあり、市内外から約40人が参加した。文化的景観について解説を聞きながら熊野古道を歩き、世界遺産に対する理解を深めた。

同センター主催。センターは、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に関係する情報の発信と学習の拠点として、市本宮行政局1階に開館した。約140平方メートルあり、展示施設や自由に閲覧できる図書コーナーなどがある。

この日は、世界遺産の登録条件となった文化的景観を学びながら歩くイベントを開催した。

県職員やボランティアで熊野古道などの保全に取り組む「世界遺産マスタ

ター」が案内役を務め、参加者は発心門王子―熊野本宮大社の約7キロを歩いた。農業や林業が文化的景観に与えた影響や、歩きやすいように並べられた石敷きから先人の知恵などを学んだ。

また、本宮行政局前ではもちつき体験もあり、つきたての味を楽しんだ。

20日には上富田町の上富田文化会館で、小栗判官と照手姫の物語をテーマにした語り芝居や講演会も催された。